

平成29年度トットリズム活動表彰 優秀事業

県内においてそれぞれの地域の資源や特性を活かし、意欲をもって地域づくり活動を積極的に行っている個人や団体を表彰する「トットリズム活動表彰」について、34件の応募の中から最優秀賞1件、優秀賞5件、あいおいニッセイ同和損保賞1件が決定しました。

【最優秀賞】

団体名

支え愛絆でつなぐコミュニティ実行委員会
(会長 西尾 志郎)

事業名

支え愛・絆でつなぐコミュニティ「宿泊型避難所体験」

事業内容

・「災害時の助け合い」を通じて、人と人の絆を感じてもらおうと、平成29年9月に、複数の校区にまたがるという特異性を持つ千代水地区で地域住民主体の「宿泊型避難所体験」を実施。
 宿泊型避難所体験・・・避難所の設営、炊き出し、支え愛マップづくり等を1泊2日で体験する取組

評価ポイント

- ・城北、賀露、世紀の複数の小学校区にまたがるとともに、昔ながらの住宅と新興住宅が混在し、地域コミュニティの希薄化が他地域よりも大きな課題となっている千代水地区において、500名を超える参加者があり、地域住民の絆を深め防災意識の向上に繋がる取組となった。(千代水地区は、平成28年3月現在で、南隈・晩稲・安長・安長団地・安長扇町・商栄町・緑ヶ丘3丁目からなる7町区世帯数504戸の地区)
- ・鳥取市の指定する緊急避難場所となっている千代水体育館での取組であり、かつ東日本大震災被災者の講演や炊きだし体験・避難所設営など、地域住民にとっては実際に災害が起こった際取るべき行動がシミュレーションできた。
- ・鳥取青年会議所や、先進的に取り組む他地域の自主防災組織(若葉台南6丁目自主防災会)、企業、行政等、地域内外の多様な団体とも連携が図られていた。
- ・事業実施後、地域で自主的に防災訓練や保存食づくりが行われるなど、地域の結束力が高まった。また、この取組を参考にした支え愛マップづくりが倉吉市で開催されたり、防災訓練が鳥取市修立地区で行われたり、他地域にも取組が波及した。



【優秀賞】

団体名

鳥取県西部中小企業青年中央会
(会長 三輪 龍介)

事業名

お地蔵さまプロジェクト

事業内容

・子どもたちの心の成長に関わり、将来「ふるさと」で活躍したい、恩返ししたい等、大山及び地域への愛着を持つきっかけにもらおうと、地域の保育園、幼稚園に通う子どもたちを対象に、大山寺参道にあるお地蔵さまの清掃活動、お絵かきコンクール、お地蔵さま巡り等、大山の歴史や魅力を体感できるイベントを実施。

評価ポイント

- ・お地蔵さまという地域にある資源を活用し、子どもたちが楽しみながら地域の歴史や魅力を体感できるイベントを継続して実施され、子どもたちの地域愛の醸成に繋がっている。
- ・子どもたちだけではなく、交流イベントを実施する等、地域住民とも連携しながら事業を展開している。



団体名

とっとりずむ
(代表 酒本勇太)

事業名

頑張る人と人をつなげる「鳥取の魅力発信プロジェクト」

事業内容

- ・「鳥取県を明るく元気に！」との思いからブログ型情報サイト「とっとりずむ」を開設し、雑誌には載っていない地域イベントや店舗、人を紹介する等、県内外に情報を発信。
- ・鳥取で頑張る「人」の応援、子育てや暮らしに役立つ情報など地域の生活に密着した取り組みにも着目し、実際に現場へ足を運んで取材・執筆を行い、人と人、人と企業をつなげ、鳥取県での新しいチャレンジを応援している。

評価ポイント

- ・SNSの運用や旅行メディア「ことりっぷ」と連携する等で、月間15万PVのアクセスがあり、都市部からの問合せも多く、県内外への新たな情報発信媒体となっている。
- ・東・中・西部にそれぞれライターを置くことで、県内全域の観光情報等も地域に密着した取材を行いながら情報発信できている。



団体名

大山女性の会
(会長 桑原 可菜子)

事業名

大山の新たな土産物開発による地域づくり

事業内容

- ・地域を元気にする取り組みの一つとして、開山1300年を迎えるのを機に、大山町の女性たちが中心となり、地元の農家や若者の協力を得ながら、地元産の原材料にこだわった新たな土産物となるお菓子「大山古道」を開発。
- ・大型スーパーでの販売、マスコミ等にも取り上げてもらいながらPR活動を行い、大山の新たな魅力づくりに向けて取り組んでいる。

評価ポイント

- ・大山の新たな土産物開発に向け、大山町商工会、農家、地域おこし協力隊等と連携し、地域ぐるみで取り組まれた。



団体名

CAZADOR(カサドル)
(代表 高橋 龍太)

事業名

地域の厄介者対策「狩猟技術の向上と鳥獣の有効資源化」

事業内容

- ・地域の厄介者である有害鳥獣対策として、ベテラン猟師による罾講習会等狩猟技術の向上を図るとともに、皮細工や角アクセサリーなど鳥獣の有効資源化に取り組んだ。
- ・また、鳥獣害対策等の周知のため、保育園でのお話し会による子どもたちへの生態系や鳥獣害の現状に関する教育活動、猪肉などのジビエを提供するイベント等を開催した他、獣の皮を使ったワークショップ等、誰もが理解しやすく、関心が深まるような取り組みも実施。

評価ポイント

- ・地域おこし協力隊出身者等の若者が中心となり、保育園へのお話し会、革製品の展示会など、若者ならではのアイデアで、有害鳥獣の被害と後継者不足という地域課題の解決に取り組んでいる。
- ・県内の既存の狩猟グループ等と県全域でネットワークを形成している他、解体場、飲食店とも連携し、幅広い活動を行っている。
- ・グループ結成から約1年で、立ち上げ時3人だったメンバーが30名以上に拡大するなど、後継者不足の解消に寄与している。



団体名

境港・ベニガニ有志の会
(会長 濱野 政和)

事業名

ベニガニのPR～水産の事なら何でも来い！

事業内容

・境港のベニズワイガニをはじめとした豊富な水産物を、多様な地域の主体によるネットワーク「水産の人材バンク」を通じて普及・PR。
・保育園でベニズワイガニの食べ方等を教える食育活動、高校の調理実習での出前授業等を通じて、子どもたちに地元の海が育む資源の素晴らしさを伝えるとともに、ベニズワイガニのレシピ本を作成する等、境港産水産物の普及に取り組んでいる。

評価ポイント

・漁協、沿岸漁業者、料理人、金融機関、教育機関、行政機関など多様な主体からなるネットワークを形成され、活動している。
・構築されたネットワークを活用し、保育園や高校での食育活動等により、地域の子どもの地域愛を育む活動を行っている。
・様々な主体が連携して都市部へ鳥取の水産物をPRを行うことで、鳥取の魅力発信に繋がっている。



【あいおいニッセイ同和損保賞】

団体名

松崎自主防災会
(会長 伊藤 敏雄)

事業名

防災活動強化プロジェクトで広がる地域の輪

事業内容

・鳥取県中部地震において自主防災組織が機能しなかった反省を活かし、「私たちの町は私たちで守ろう」を目標に防災訓練や、こども園の園児へ防災頭巾を贈呈する防災頭巾55プロジェクト等を実施。
・自主防災を強化するには人と人とのつながりが第一とし、防災頭巾づくりワークショップの開催や、地域の秋祭りにおいて防災頭巾贈呈や、消火体験・防災クイズなどを行う等、多世代が交流しながら防災意識を高める取り組みを行った。

評価ポイント

・こども園の園児への防災頭巾づくりを通して、松崎地区の地域住民、団体を巻き込み、地域の輪を広げた活動となった。
・子ども園だけでなく、小中学校や、高齢者への防災頭巾の贈呈など、幅広い世代を対象とした取り組みを継続することで、地域の絆がさらに深まることが期待される。

